

大阪 HITEC NEWS Vol. 9

発行／大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム事務局

〒559-0034 大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATC/ITM 棟 11 階

NPO 法人エコデザインネットワーク内

2013 年 12 月 20 日発行

TEL:06 (6615) 5272 FAX:06 (6616) 7098 E-mail:info@osakahitec.com URL:http://www.osakahitec.com

■理事会・総会を開催■

昨年度活動報告や今年度の活動方針を検討

「大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム」(大阪HITEC)の理事会(平成25年6月)、総会(平成25年6月)を開催し、理事会及び総会では、平成24年度事業報告・収支決算、平成25年度事業計画・収支予算案、理事の選任について承認されました。

「公開セミナー」を開催しました

総会後に、公開セミナーを開催しました。

▽日時 2013年6月7日(金) 15:10~16:40

▽会場 ドーンセンター 5階 視聴覚スタジオ

▽内容

テーマ: H24年度大阪クールスポット100選と暑熱環境適応策への展開

講師: 鍋島 美奈子(大阪市立大学大学院准教授)

テーマ: クールスポット創造技術について

講師: 北宅 善昭(大阪府立大学大学院教授)



(平成25年度6月 公開セミナー風景)

第3回「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」を開催しました

ヒートアイランド現象を緩和し魅力ある都市空間を創出する空間デザインと、大阪の夏を涼しく過ごす夢あふれるユニークなアイデアを募集する「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」を実施しました。

▽募集期間: 6月1日~8月20日

▽応募数: 39作品

・都市デザイン部門: 26作品

・技術アイデア部門: 9作品

・啓発プロモーション部門: 4作品

▽審査委員

審査委員長 水野 稔(大阪大学名誉教授)

副委員長 増田 昇(大阪府立大学大学院)

審査員 池上俊朗(京都市立芸術大学教授)

西村信也(大阪市立大学大学院教授)

山田宏之(大阪府立大学大学院教授)

岡絵里子(関西大学准教授)

鍋島美奈子(大阪市立大学大学院准教授)

▽審査結果

●最優秀賞

(都市デザイン部門)

作品名: 流下する並木道

受賞者: 林 宏樹

(審査員講評から抜粋)

漏斗型の構造体による並木道と地下街とのネットワーク形成を目指したものであり、広大な地下街からなる大阪都市構造への挑戦的な提案である。この流下する並木道は、大阪の西風を呼び込み、大阪都心部のクールラインとも呼べる南北に伸びた並木道、御堂筋へと繋がる風の通り道を形成しようとしているものであり、大阪クールネットワークの創造に繋がる提案である。

●優秀賞

(都市デザイン部門)

作品名: Prologue to the Cool Network

～道×川の十字の軸づくり～

受賞者: 尾上俊朗、青木嵩、石川翼、深水広大、

細川茜、宮地茉耶、小林真洋、金澤早

紀子、田中佑季、大和恵、大久保宏美

(技術アイデア部門)

作品名: クールスポット検索アプリ「納涼のすゝめ」

受賞者: 大城有司、玉井一生

●審査員特別賞

(都市デザイン部門)

作品名:温故知新の都市デザイン

受賞者:村下雄司、近藤明

(技術アイデア部門)

作品名:快適ソトワーク@クールスポット
～ソトワーク指数によるクールスポット
の有効利用と低炭素型まちづくり～

受賞者:安藤邦明、大竹和夫、土屋直也、
稲葉薫、田中英之、今野尚子

▽後援法人 45 法人、協賛法人 9 法人

第3回「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」表彰式、パネルディスカッションを開催しました

第3回ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ表彰式、パネルディスカッションを開催しました。

▽日時 2013年9月12日(木) 13:45～16:30

▽会場 大阪府立大学 I-site なんば

▽表彰式

受賞者への表彰、副賞の授与。受賞者による作品紹介。



(受賞者による作品紹介)



(コンペ受賞者のみなさまと審査員の先生方)

▽パネルディスカッション

テーマ:クールスポットネットワークから大阪の
グランドデザインを考える

コーディネーター:森山正和(神戸大学名誉教授、摂南大
学教授)

パネリスト:

水野稔(大阪大学名誉教授)
増田昇(大阪府立大学大学院教授)
池上俊朗(京都市立芸術大学教授)
中尾正喜(大阪市立大学大学院特任教授)
梶山善弘(大阪府環境農林水産部みどり
推進担当副理事)



(コーディネーターの森山先生)

▽内容

受賞した作品について、アイデアの面白さや実現性について討論を行いました。また惜しくも受賞を逃した作品についても、ユニークなものも数多くあり、討論を行いました。

第3回「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」作品展・協賛法人シーズ紹介展を開催しました

コンペに応募いただいた全作品を展示する作品展示とコンペ協賛法人の紹介展を開催しました。

▽日時 2013年9月12日(木) 13:15～17:30

9月13日(金) 9:15～16:00

▽会場 大阪府立大学 I-site なんば



(応募作品展示会の様子、i-site なんばにて)

『ヒートアイランド対策技術認証制度』3件の技術を認証しました

平成23年10月1日から『ヒートアイランド対策技術認証制度』を開始しております。平成25年3月25日に第2回ヒートアイランド対策技術認証制度審査委員会を開催後、3件の技術を認証いたしました。

1. 認証技術について

認証された技術は、次のとおりです。

●屋根用高日射反射率塗料

【認証】 ビッグサントップUR ミルキーホワイト
《大日化成株式会社》

【認証】 ATTSU-9 (4F) スノーホワイト
《日本ペイント株式会社》

●高日射反射率舗装（車道除く）

【認証】 アースクールF グレー
《イサム塗料株式会社》

※なお、申し込みについては、大阪HITECホームページの認証制度を参照ください。

(<http://www.osakahitec.com/>)

ヒートアイランド対策技術認証制度のセミナーを開催しました

▽日時 2013年9月13日（金）13:30～15:40

▽会場 大阪府立大学 I-site なんば

▽内容

- テーマ：認証技術の普及に向けて
柴田悦朗（大阪府）、田端晋平（大阪市）
- テーマ：遮熱塗料の普及と認証制度のありかた
萩原晴夫（サンホームサービス㈱）
- テーマ：遮熱性舗装ブロック「ランドサーマス」
津郷俊二（日本興業株式会社）
- テーマ：認証制度の普及促進について
野邑泰弘（認証制度運営委員会委員長）
- テーマ：ヒートアイランド現象に対する適応策モデル事業について
山根正慎（環境省）



（セミナー開催の様子）

～大阪府ヒートアイランド対策普及支援事業～

●対象となる府選定の対策技術

＜ヒートアイランド対策技術の内、日射による建築物表面及び敷地表面の高温化抑制をするもの＞

- ア 駐車場等アスファルトへの対策（保水性舗装、高反射率化等）
- イ 建築物（屋根、外壁等）の外断熱化
- ウ 敷地内の屋外緑化
- エ 建築物の屋根の高反射率化

※上記対策技術のうち、大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムのヒートアイランド対策技術認証制度において認証された対策技術を使用することが望ましい。

●施工事業計画の認定基準

- ア 駐車場等アスファルトへの対策については、敷地内の概ね全てのアスファルトが施工対象であること。
- イ 建築物の外断熱化については、建築物の概ね一棟が施工対象であること。
- ウ 敷地内の屋外緑化については、事業所の全敷地面積の割以上の面積を緑化するものであること。
- エ 建築物の屋根の高反射率化については、建築物の概ね一棟が施工対象であること。

●関係金融機関及び優遇措置

①(株)商工組合中央金庫（大阪、梅田、船場、堺、東大阪、箕面船場の各支店）

【借入利息の利率優遇0.2%】

②(株)日本政策金融公庫（全国の支店）

【長期固定金利最大20年間】

●関係金融機関への借入申込期間

①商工中金については、平成22年7月29日から平成27年3月31日まで（予定）。

②日本政策金融公庫については、平成24年4月6日から平成26年3月31日まで。

※関係金融機関と協議の上、毎年度の更新となります。

●大阪府への平成25年度の申込期間

平成25年4月1日（月）から平成26年2月28日（金）

●施工事業計画の認定件数

原則30件（平成25年度）

●問い合わせ・申込先

大阪市住之江区南港北1丁目14番16号

（大阪府咲洲庁舎22階）

大阪府環境農林水産部 みどり・都市環境室

地球環境課 温暖化対策グループ

電話：06-6210-9553（直通）

F A X：06-6210-9551

E-Mail：midorikankyo-g03@sbox.pref.osaka.lg.jp

クローズアップ 1-1

第3回「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」
「都市デザインワーキンググループ」の取組み
■都市デザインワーキンググループ主査
増田 昇(大阪府立大学大学院教授)

今回で3回目を向えたヒートアイランドに配慮した街づくり・アイデアコンペの結果について報告します。

○コンペの主旨と概要

今回は、大阪HITECによって昨夏選定しましたクールスポットに視点を当て、それらのスポットがネットワークされ、面として広がっていくことによりまして、低炭素型社会の形成やエネルギー問題に貢献し、都市魅力あふれる大都市・大阪の実現に向けた夢あふれるユニークなアイデアを広く募集しました。啓発プロモーション部門を新たに設け、都市デザイン部門と技術アイデア部門の3部門としました。都市デザイン部門と技術アイデア部門は対象エリアを設定し、より具体的なアイデアを求めました。対象エリアは「グランドデザイン・大阪」においても、その中心エリアに位置付けられています大阪駅を中心に淀川と中之島、大阪城公園を含むエリアとしました。啓発プロモーション部門は対象エリアを設定せず、ヒートアイランド現象の理解や対策のためのライフスタイルや環境行動を大阪全般に広めるための啓発ポスターの提案を求めました。

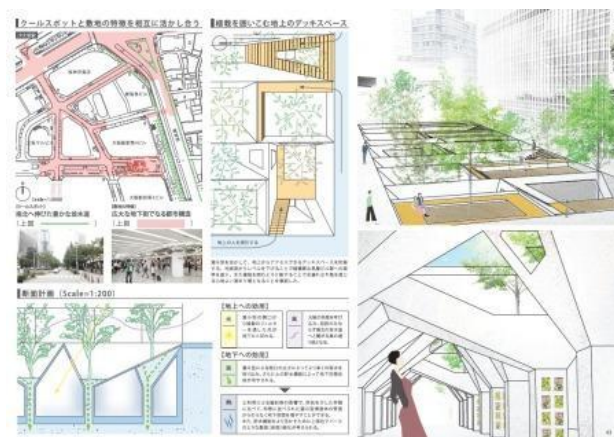
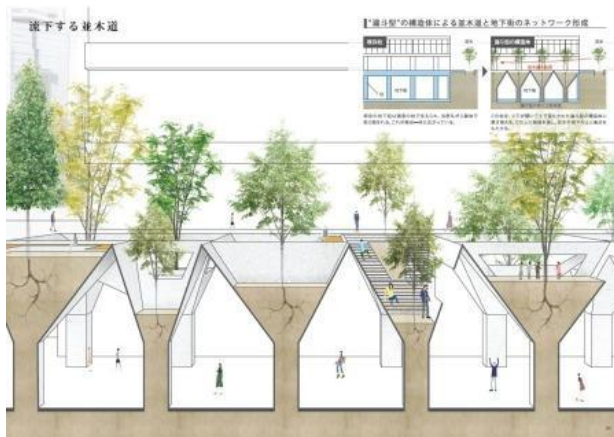
その結果、都市デザイン部門は26作品、技術アイデア部門は9作品、啓発プロモーション部門は4作品、計39作品の応募がありました。理事長をはじめとします7名の学識経験者による厳正な審査の結果、最優秀賞は都市デザイン部門の「流下する並木道」を選出し、都市デザイン部門では「Prologue to the Cool Network～道×川の十字の軸づくり～」を優秀賞、「温故知新の都市デザイン」を審査員特別賞、技術アイデア部門では「クールスポット検索アプリ「納涼のすゝめ」」を優秀賞、「快適ネットワーク@クールスポット～ネットワーク指数によるクールスポットの有効利用と低炭素型まちづくり～」を審査員特別賞として選定しました。なお、啓発プロモーション部門は、ポスターといった点から評価した結果、いずれも主張が弱く、残念ながら賞の対象となります作品

はありませんでした。

○受賞作品の概要

今回の評価の視点は、サブタイトルに掲げましたように、大都市大阪の魅力創造とネットワーク論がどのように実現されるのかといった点にありました。

最優秀賞の「流下する並木道」は、大阪駅前のダイヤモンド地区を対象に、上下が開いた漏斗型の構造体に土壌を挿入し、その上に植栽された並木道を地下街へとネットワークさせるといったもので、漏斗に満たされた土壌は雨水を貯留し、その貯水機能によって地下空間全体を冷やすとともに、地下へと流下する並木道によって大阪の西風を呼び込もうとする斬新で挑戦的なアイデアでありました。



優秀賞は都市デザイン部門では「Prologue to the Cool Network」、技術アイデア部門では「クールスポット検索アプリ」でありましたが、前者は街の軸、人の動きの軸である御堂筋と水と緑の軸である大川で作られる十字によって、都心に集中しているクールスポットをネットワークさせようとする提案で、今回のテーマであるネットワークを強く意識したアイデアでありました。

クローズアップ 1-2

「クールスポット創造技術手法ワーキンググループ」の取組み

■クールスポット創造技術手法ワーキンググループ主査
北宅 善昭(大阪府立大学大学院教授)

簡易蒸発散測定装置を用いた屋上緑化植被の蒸発散速度および潜熱フラックスの計測

昨年度作製した簡易蒸発散測定装置を用いて、大阪市役所屋上に整備された緑化地において試験測定を行い、装置の検証を行うと共にヒートアイランド対策に寄与する緑地冷却効果の評価指標成り得るかどうかを検討した。試験は、2013年9月10日に実施した。

1. 測定対象地

屋上の緑地帯は、南側と北側に帯状に整備されており、南側芝生地 3 箇所、北側芝生地 1 箇所、および南側草地 1 箇所の計 5 箇所について行った。また蒸発散のない舗装面において、装置のゼロ検定を行った。

南側芝生地は芝生の生育が比較的均一に良好であり、若干傾斜している。その傾斜地下部 (A、C) と傾斜地上部 (B) を測定対象地とした。南側草地は、芝生地内に生育するチドメグサ群生地を測定対象地とした。北側芝生地は、建物の日陰の影響により、芝生の生育が疎な部分を測定対象地とした。南側舗装面は、建築物と緑地帯の間に敷設されたインターロッキングブロックと目地モルタルによって構成されていた。



写真 1 南側芝生地 A,B,C



写真 2 南側草地



写真 3 北側芝生地



写真 4 南側舗装面

2. 簡易蒸発散測定装置の概要

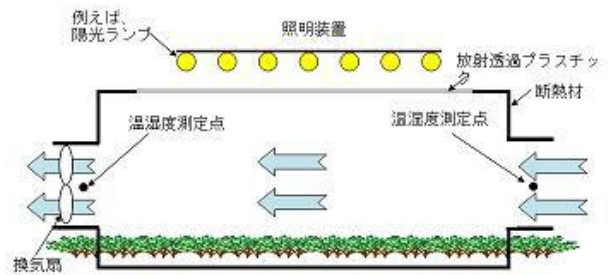


図 1 簡易蒸発散測定装置の模式図



写真 5 簡易蒸発散測定装置の設置状況

図 1 は簡易蒸発散測定装置の内部構造を模式的に示したものであり、写真 1 はこの装置を用いて実際に測定を行っている状況である。本測定装置は、測定の対象となる緑地帯や舗装等の一部に本測定装置を設置し、装置内上部に設けられた光源、及び空気排出側に設けられたファンによって、人工的に日射及び風速を一定量与えることのできる装置である。(装置内放射照度: 350 W/m²、風速: 1.0 m/s)

また、装置の空気入口側及び出口側には温湿度センサが取り付けられており、それらの温湿度出力から蒸発散速度及び潜熱フラックスを算出し、それらの値から対象地の冷却能力を数値的に評価するものである。

3. 蒸発散速度、及び潜熱フラックスについて

潜熱フラックスは以下の式によって求めた。

$$\text{空気流速 (m}^3\text{/s)} = \text{風洞内部の平均風速 (m/s)} \times \text{風洞内断面積 (m}^2\text{)}$$

$$\text{蒸発散速度 (mg/m}^2\text{/s)} = \text{入り口と出口の絶対湿度差 (mg/m}^3\text{)} \times \text{空気流速 (m}^3\text{/s)} / \text{装置底面積 (m}^2\text{)}$$

$$\text{潜熱フラックス (W/m}^2\text{)} = \text{蒸発散速度 (mg/m}^2\text{/s)} \times \text{蒸発潜熱 (J/mg)} \quad \text{※ W=(J/s)}$$

4. 結果

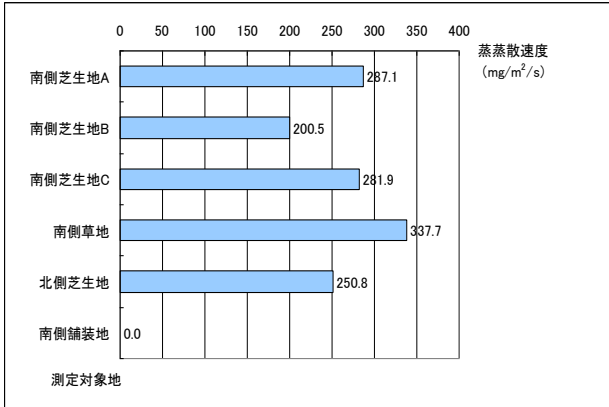


図2 各測定対象地の蒸発散速度

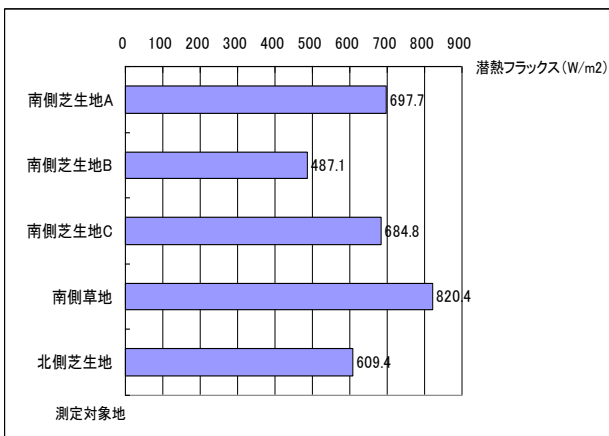


図3 各測定対象地の潜熱フラックス

図2、図3より、蒸発散速度および潜熱フラックスは高い順に、南側草地(優占種チドメグサ) > 南側芝生地 A > 南側芝生地 C > 北側芝生地 > 南側芝生地 B となり、特に土壌表面が比較的乾いていた南側芝生地 B で潜熱フラックスが最小であった。今回の試験では、本装置の有効性を実証することを目的としたため、植生の状況や土壌水分等の正確な計測は行っておらず、蒸発散速度および潜熱フラックスが場所により、あるいは植生の種類により異なる理由は未検討である。

以上から、最高値を示した南側草地と最低値を示した南側芝生地 B の差は、蒸発速度が 137 mg/m²/s、潜熱フラックスは 333 W/m²であり、同じ緑地帯であっても植物種や生育環境によって比較的大きな差が生じることが確認された。

5. まとめ

今回の実証実験によって、周辺環境が同様な場

所であっても、植物種の違いにより潜熱フラックスが異なることや、同じ種の芝生地であっても、生育環境(南面、北面)によって潜熱フラックスに差が生じることが確認された。この結果から、潜熱フラックスは土壌中の水分量や、植物の種類によって変化し、また土壌中の水分が豊富であれば土壌のみからの蒸発であっても、ある程度の潜熱フラックスが期待できることも確認された。以上から、この簡易蒸発散測定装置を用いた潜熱フラックスの測定により、緑地の冷却効果の評価が可能であることが確認された。今後、この装置を用いた現地での潜熱フラックス測定値を、ヒートアイランド対策のための評価基準として活用する方策について、検討を進める予定である。

検討部会 WGの動き

【素材関連WG】

素材関連WGでは、保水性舗装及び外断熱について、認証制度における評価基準等の検討に取り組んでいます。また高日射材料の汚染促進試験方法の検討やヒートアイランド対策に寄与する新たな素材の検討に取り組んでいます。

〈第28回会合〉

▽日時 2013年4月30日(火) 15:00~17:00

▽場所 エルおおさか5階 研修室2

▽内容

- (1) 外断熱SWGの認証基準(案)について
- (2) 保水性舗装SWGの認証基準(案)について
- (3) 平成25年度素材関連WG事業計画(案)について

〈第29回会合〉

▽日時 2013年11月15日(金) 14:00~17:00

▽場所 ドーンセンター4階 大会議室3

▽内容

- (1) 外断熱SWGの認証基準について
- (2) 保水性舗装SWGの認証基準(案)進捗状況について
- (3) 新SWG(高反射材料の汚染促進試験方法SWG)の設立について
- (4) 新素材の情報提供(ウィンドウフィルム)

※現在SWGとして、外断熱仕様SWG、保水性舗装SWG、高反射材料の汚染促進試験方法SWGが活動しております。また、再帰反射性素材関連のSWGも立ち上げ準備をしております。SWGに参加希望の方は事務局までご連絡下さい。

《2014年3月までの予定》
 ○WGの会合としては、3月までに、さらに1~2回程度開催予定。

【熱有効活用・人工排熱低減WG】

熱有効活用・人工排熱低減WGでは、空冷空調機用排熱低減対策装置による熱汚染対策効果及び人工排熱を大気以外の媒体に処理する技術を対象にした大気熱負荷削減効果の認証方法の検討などに取り組んでいます。

〈第24回会合〉

▽日時 2013年3月26日(火) 14:00~17:00
 ▽場所 大阪市環境局 第1会議室(あべのヒアス)
 ▽内容

- (1) 報告
 「企画運営委員会(2013年1月15日)」について
 大阪市環境局 馬渡 正光 担当係長
- (2) 紹介
 - ・大阪府「ヒートアイランド対策熱負荷計算モデル(環境省委託事業)」について
 (株) ニュージェック 地球環境グループ
 柘本 太郎 マネージャー
 - ・「空調システムからの排熱低減量の評価法」について
 関西電力(株) 建築設備エネルギーグループ
 岩井 良真 氏
 - ・「ヒーポンらぼ」で実施している空調室外機への水噴霧試験について
 中部電力(株) エネルギー応用研究所
 都市・産業技術グループ 宮岡 洋一 研究主査
- (3) 「熱有効活用・人工排熱低減WG」における認証

制度策定に向けた、内容と方法について議論
 ・「エアネットサービスにおけるデータ取得」について
 ダイキン工業(株) カスタマーサポートセンター
 松場 英樹 課長

・空調室外機の水の蒸発作用利用したシステムの認証制度における認証対象、評価項目、及び認証基準(範囲)を各参加企業と議論

〈第25回会合〉

▽日時 2013年5月30日(木) 14:00~17:00
 ▽場所 大阪歴史博物館 4階 第1研修室
 ▽内容

- (1) 紹介
 - ・外気温度別室内機の負荷率の分析及び温度別の負荷率における評価
 ダイキン工業(株) カスタマーサポートセンター
 松場 英樹 課長
 - ・蒸気圧縮式空冷空調機のシミュレーション手法を用いた空調排熱量の評価手法について
 大阪市立大学大学院 西村 伸也 教授
- (2) 空調室外機の水の蒸発作用を利用したシステムの認証制度における認証対象、評価項目、及び認証基準(範囲)を各参加企業と議論

〈第26回会合〉

▽日時 2013年10月11日(金) 14:00~17:00
 ▽場所 大阪歴史博物館 4階 第1研修室
 ▽内容

- (1) 紹介
 - ・「室外機フィンへのスケール付着」に関して
 大阪市立大学大学院 西岡 真稔 准教授
 - ・「ヒーポンらぼ」で実施している空調室外機への水噴霧試験(第2報)について

中部電力(株) エネルギー応用研究所
 都市・産業技術グループ 宮岡 洋一 研究主査
 ・「空調システムからの排熱低減量の認証(案)」について

関西電力(株) 建築設備エネルギーグループ
 山口 弘雅 リーダー

- (2) 「熱有効活用・人工排熱低減WG」における認証制度策定に向けた、内容と方法について議論
 - ・測定可能な項目(吸込・噴出温度、水量、電流等)とそれにおけるコスト
 - ・節電、冷却効果、及び耐久性等に関する検討

〈第27回会合〉

▽日時 2013年12月16日(月) 14:00~17:00
 ▽場所 大阪歴史博物館 4階 第1研修室
 ▽内容

- (1) 「熱有効活用・人工排熱低減WG」における認証制度策定に向けた、内容と方法について議論
 - ・評価手法の検討
 - ・評価項目の検討
 - ・認証制度に向けた課題の検討
 - ・その他

《2014年3月までの予定》
 ○WGの会合としては、3月までに、さらに1~2回程度開催予定。

【クールスポット創造技術手法WG】

クールスポット創造技術手法WGでは、緑化技術に関する評価項目等の検討、また、水を活用した技術の検討に取り組んでいます。

また、緑化による温度低減効果を把握するための簡易蒸発散評価装置の開発に取り組んでいます。

〈第17回会合〉

▽日時 2013年12月25日(水) 14:30~17:00
 ▽場所 大阪歴史博物館 2階 第1会議室
 ▽内容

- (1) 壁面緑化の効果について
- (2) 報告・検討事項について
 - ・簡易蒸発散評価装置の試験結果
 - ・ヒートアイランド対策技術認証制度の進捗
 - ・草本類の緑化技術に関する評価シート
 - ・今後の活動

《2014年3月までの予定》
 ○WGの会合としては、3月までに、さらに1~2回程度開催予定。

【熱負荷評価手法WG】

熱負荷評価手法WGで開発した大気熱負荷削減量や表面温度低下を評価するシミュレーションモデルを活用し、認証申請のあった技術の定量的評価を実施し、申請者に情報提供しています。

今後、認証制度の対象となる技術の追加が検討される際には、関係のWGと連携して、当該技術に関するシミュレーション手法についての検討を行うこととします。

【都市デザインWG】

都市デザインWGでは、ヒートアイランドに配慮したまちづくりのアイデアの提案を求めるコンペを実施するなど、ヒートアイランドに配慮した都市デザインの検討に取り組んでいます。

〈第17回会合〉

▽日時 2013年3月4日(月) 10:00~12:00

▽場所 大阪歴史博物館 2階 第1会議室

▽内容

- (1)第3回「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」の平成25年度開催に向けての検討

〈第18回会合〉

▽日時 2013年6月3日(月) 13:30~16:00

▽場所 大阪歴史博物館 2階 第1会議室

▽内容

- (1)第3回「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」審査会・表彰式・シンポジウムの検討

〈コンペ審査委員会〉

▽日時 2013年8月29日(木) 13:00~17:00

▽場所 大阪歴史博物館 2階 第1、第2会議室

▽内容

- (1)応募作品39作品を審査した結果、都市デザイン部門から最優秀賞1作品、優秀賞1作品、審査員特別賞1作品、技術アイデア部門から優秀賞1作品、審査員特別賞1作品を選定。

〈表彰式〉

▽日時 2013年9月12日(木) 13:45~15:00

▽場所 大阪府立大学I-siteなんば カンファレンスルーム

▽内容

- (1)コンペ受賞者への賞状、副賞の授与、受賞者による作品紹介を開催した。

〈パネルディスカッション〉

▽日時 2013年9月12日(木) 15:30~16:30

▽場所 大阪府立大学I-siteなんば カンファレンスルーム

▽内容

- (1)コンペを記念し、応募作品についてパネルディスカッションを開催した。
テーマは、「クールスポットから大阪のグランドデザインを考える」。

《2014年3月までの予定》

OWGの会合としては、3月までに、さらに1~2回程度開催予定。

【認証制度運営委員会】

認証制度運営委員会では、認証制度実施要綱に基づき、実施要領等について検討しております。

〈第8回会合〉

▽日時 2013年6月18日(火) 14:00~16:00

▽場所 ドーンセンター 4階 中会議室

▽内容

- (1)認証制度申込み状況について
(2)高日射反射率塗料の認証について
(3)外断熱工法の認証について

〈第9回臨時会合〉

▽日時 2013年9月13日(金) 18:00~19:30

▽場所 大阪府立大学 i-site なんば

▽内容

- (1)外断熱仕様の認証基準について

※次回委員会では外断熱仕様、保水性舗装の認証基準について検討する予定です。

【認証制度審査委員会】

認証制度審査委員会では、認証制度実施要領に基づき、認証審査を実施しております。

※申請が溜まり次第開催致します。

認証の対象は、屋根用高日射反射率塗料、高日射反射率舗装(車道除く)、高日射反射率住宅屋根材(瓦、化粧スレートなど)、高日射反射率防水シートの4種類です。現在までに認証されている技術は下記の10技術です。

●屋根用高日射反射率塗料

【認証】

- ・ ATTSU-9 (4F) (パールライト)
- ・ ATTSU-9 (4F) (スノーホワイト)
《日本ペイント株式会社》
- ・ ビックサントップUR (ミルクイエローホワイト)
《大日化成株式会社》

●高日射反射率舗装(車道除く)

【認証】

- ・ ランドサーマス (ライドグレー)
- ・ ランドサーマス (ライトブラウン)
《日本興業株式会社》
- ・ アースクールF (グレー)
《イサム塗料株式会社》

【準認証】

- ・ ランドサーマス (ミディアムグレー)
- ・ ランドサーマス (ミディアムブラウン)
《日本興業株式会社》

●高日射反射率住宅屋根材(瓦、化粧スレートなど)

【認証】

- ・ コロニアル遮熱ガラスCC825 (G及びW)
《ケイミュー株式会社》

【準認証】

- ・ コロニアル遮熱ガラスCC835 (G及びW)
《ケイミュー株式会社》

※上記対象技術の【認証】基準は、初期の日射反射率40%以上、【準認証】基準は同30%以上。

※認証を取得された企業様には、認定書及びロゴマークをお送り致します。また、認証製品として積極的にPR致します。

※なお、申し込みについては、大阪HITECホームページの認証制度を参照ください。

(<http://www.osakahitec.com/>)

コンソーシアムの会員種類・年会費

- 法人会員（議決権 1 口につき 5 票） 50,000 円／1 口
- 個人会員（議決権 1 口につき 1 票）
 - ・企業に勤務する個人 10,000 円／1 口
 - ・大学、試験研究機関、行政機関、公的機関に勤務する個人 5,000 円／1 口
 - ・学生 1,000 円／1 口
- オブザーバー（議決権なし）
 - ・行政機関

※大阪HITECは随時会員募集を行っています。

詳細な入会案内については、大阪HITECのホームページをご覧ください。

→ <http://www.osakahitec.com>

※会員の皆様へ

年会費は、当該年度の 4 月末までにお納めいただくことといたしておりますので、26 年度もご対応方、よろしくお願いいたします。

（納付確認後に総会のご案内をいたします。）

また、年会費納付のご案内の際に、毎年、会員のご連絡先(担当者)について、ご確認をさせていただいておりますので、ご協力のほど、重ねてお願いいたします。

◆◆◆大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムの構成メンバー◆◆◆

【法人】(35 社)アーキヤマデ(株)、安治川鉄工(株)、有光工業(株)、(株)いけうち、(株)エスシーエイエヌ、エヌシー産業(有)、大阪ガス(株)、(株)大林組、(株)神清、(株)カネカ、(株)環境総合テクノス、関西電力(株)、ケイミュー(株)、城見住研(株)、住ベシート防水(株)、NPO 法人外断熱推進会議、太平洋プレコン工業(株)、太陽セメント工業(株)、ダイキンエアテクノ(株)、ダイキン工業(株)、(株)大高商会、大日化成(株)、大日本塗料(株)、(株)竹中工務店、日鉄住金鋼板(株)、日本気象(株)、(一財)日本塗料検査協会

(一社)日本塗料工業会、日本ペイント(株)、発泡プラスチック外断熱材連絡会、日比谷総合設備(株)、

(株)フッコー、(株)ベルテック、ユニソングループ((株)ユニソン、(株)ユニソン西日本)、(株)LIXIL

(50 音順)

【個人】(22 名)水野稔、野邑奉弘、森山正和、池上俊郎 ほか 18 名

【大学】大阪大学、大阪府立大学、大阪市立大学、神戸大学、京都工芸繊維大学、関西大学、摂南大学

【行政等】大阪府、大阪市

【NPO・NGO】NPO 法人エコデザインネットワーク(大阪 HITEC 事務局)

(平成 25 年 12 月 20 日現在)